



## 高木菜今大会初勝利

女子マススタートの表彰台でメダルを手に笑顔を見せる高木菜那(中央)。右は押切美沙紀、左は田畠真紀

高木菜那は最終種目の女子マススタートで今大会初勝利を収め、ようやく表情を緩めた。

けがの右膝をかばううちに、左足まで痛むようになつた。この日は1000mを棄権、マススタート一本に絞つた。24人で一斉にスタートし、シングルトラックで16周する。松岡美智富士急が抜けだしたが高木美帆と押切美沙紀が引つて最後は足が疲れた。マ

レース能力高めたい

女子マススタート3位の押切美沙紀の話  
集団の前の方で引つ張ったこともあり、最後は足が疲れた。マ

スタートの日本はメダルに近い位置に付けていると想つ。もっと持久力とスピードで力を温存し、最終周でスピードを發揮することが可能だ。

張る2番手集団の中で足の力を温存し、最終周でスピードを發揮することが可能だ。「本当に自分もアタッ

クしたかったが、痛くて後ろに付くしかできなかつた」とサポート役の2人に感謝した。

翔大・本別高出、1万円は

小川翔也(専大・池田高出)

和田真(日本建物管理・北

山梨学院大、白樺学園高

出)が2位と健闘した。男

子は東城拓也(ダイチ・白

樺学園高出)がマススター

トで3位。1000mは大

小川翔也(専大・池田高出)